

2021年度 日本工学院専門学校											
ミュージックアーティスト科/サウンドクリエイターコース											
音楽基礎A 2											
対象	1年次	開講期	後期	区分	必修	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	田熊 知存			実務 経験	有	職種	音楽理論講師				
授業概要											
思い描いた楽曲を形にしていくにはDAWを直感的にコントロールできることが不可欠です。この授業では、DAWの基礎知識や構造から鑑みた、合理的に楽曲を形にしていく過程を学びます。DAWの立ち上げから、基礎的なインターフェースの理解、企業から与えられた発注に即座に対応できるよう、スピーディーなDAWの操作、データ管理の概念、また、実演家としてのAuthorを想定し、アコースティック・エレクトリック両方に対応できるDAWの特徴、操作方法を学びます。											
到達目標											
本科目は、少人数制による時間毎のトレード方式にての進行となっており、1年次前期までは、基本的なCubaseの使い方、起動時より不具合があった際のトラブル対処方法まで、DAWを起動～基本操作が行える、までを目標に授業が進行する。2年時には、1年時のノーテーション/アレンジクラスで習得したデータを、実際にCubaseにプログラムしていく、という実践を行い、サウンドエンジニアリングクラスの授業とも連携し、Cubase1台で、ミックス、マスタリング、ステム納品まで行える即戦スキルを身につける事を到達目標とし、クライアントやレコード会社の発注に忠実なトラック制作を行える柔軟なトラックメーカー/企業作家としての技能を習得することを到達目標にしている。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
授業方法											
この授業では、学生個々が元々持っていたスキルを加味しながら、基本、個別対応方式で進行する。全くDAWを触った事のない学生、既にDAWの操作に慣れている学生等、色々な学生のスキルを理解し、その学生それぞれに、どのように伝えればDAWを理解し、自分が思っている音楽が制作できるか、というクラスのバランスを意識しながら、他の生徒との差異をコンプレックスに持たないような授業を展開いたします。授業で教えるべき基礎内容だけでなく、現役で活躍しているトラックメーカーの即納の裏技など、中級者も上級者も常に興味を持ってプログラミング技能を発展させることを目指す。											
成績評価方法											
試験・課題	70%	課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価									
成果発表	20%	授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価									
平常点	10%	積極的な姿勢									
履修上の注意											
この授業では、昨今の音楽業界の常であるセントラルダウン方式で既にキャリア形成を行っている既得権益層から認められなければ仕事は取りにくい、との観点で、礼節・マナー・納期（約束）を守るか等について、音楽の善し悪しよりも厳しく監察・評価を行う。理由のない遅刻や欠席は、それらが如何に致命的であるかを柔らかく指摘する。授業に出席するだけでなく、コミュニケーション能力を高める為、学生同士のカンファレンスの機会を多く取り、インタラクティブな授業展開で他人からの情報も多く吸収し、技能の向上に努める事を目標とする。出席率、提出率が4分の3を満たしていない者、4分の3以上出席しない者は、定期試験受験不可、進級できない。											
教科書教材											
毎回授業にて資料配布を行う 参考書・参考資料等は授業中に指示をする											
回数	授業計画										
第1回	PCの電源立ち上げから、Cubaseの起動までが出来るようにする（他己紹介、トラブル対処も含む）										
第2回	前回の項目の復習を主にし、DAWの概念を簡潔に説明し、音を出す、という作業に入っていきます（音の紹介。検索の仕方等）										
第3回	Hallion SEの立ち上げから、音色の検索方法を覚える 通信カラオケ業界の道へも行けるよう、スタンダードMIDI音源についても軽く触れておく										
第4回	付いてきていない人への個別フォロー、出来ている人は出来ていない人へ教える等、 学生同士の教え合いの推進（コミュニケーション能力の付加・クラスの一体化を目指す）										
第5回	簡単なリズムパターンの入力ができるようにする										
第6回	わからない学生は個別に回り、DAWを体の一部となるくらいにいじり倒してもらう										

2021年度 日本工学院専門学校	
ミュージックアーティスト科/サウンドクリエイターコース	
音楽基礎A2	
第7回	実際の人間が叩いたドラムを聴かせつつ、それに近いグルーブになるよう、精査を行う
第8回	上記の成果物を、課題として授業後に提出
第9回	同時に、課題の成果による、個々のフォローアップを行い、ついて行けなくなる学生をなくす
第10回	新たにトラックを作るという過程を完全に、マスターする
第11回	MIDIデータと一緒に、オーディオデータの扱い方にも触れ、2年次の生楽器やVo編集についての予備知識を持つ。 Audioデータトラックの立ち上げ方。MIDIとの操作性の違い
第12回	外部フォルダからのAudioデータの読み込み、AudioデータをBPMに合わせ伸縮させてMIDIと連動させてみる
第13回	12回までの授業での成果物を精査し、提出できるまで到達する
第14回	上記の成果物を、課題として授業後に提出（同時にみきわめを行い、足りない生徒はフォローアップする）
第15回	これまでの授業の全体をまとめ、前期の技能を確認し、点数を付ける